

西府崖線では常緑樹が茂りすぎて、林床に陽が当たらなくなっている為、下草がない場所もある。
段階的に高木剪定を実施し、林床に陽が差し込むくらいの剪定を実施。

2022年3月



剪定前



剪定後



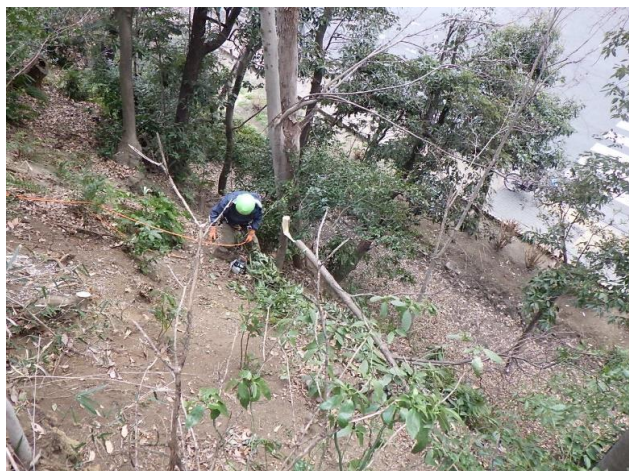
枯れた箇所も切り戻して樹木の負担を軽減

2023年1月



発生材の再利用

下草などが無い箇所はとても崩れやすい為、剪定枝や伐採した幹・枯れ枝等を再利用し土留め柵を設けました。



急傾斜での作業状況。親綱を張って落下防止を万全にして作業しています。



剪定枝を利用した土留め柵



枯損木を利用した土留め柵